

道徳 評価の視点【1年】

教材名	どうとくの がくしゅうが はじまるよ どうとくでは こんな がくしゅうを するよ
ねらい	教材に示された絵や文章をもとに、友達と考えを交流することとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。
評価の視点	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。

教材名	がっこう だいすき 「学校は楽しいね」
ねらい	学校生活について考えることとおして、学校や学級・友達に関するさまざまなことに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送ろうとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考え方にふれながら、自分の生活経験をもとに、よりよい学校生活や集団生活を送っていくために必要なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 よりよい学校生活や集団生活を送るために必要なことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	たのしい ことが いっぱい 「にこにこ顔で」
ねらい	教師や友達などの多くの人との関わりについて考えることとおして、学校や学級・友達に対する理解を深め、よりよい学校生活や集団生活を送ろうとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、よりよい学校生活や集団生活について、多面的・多角的に考えることができているか。 よりよい学校生活や集団生活を送っていくために必要なことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	あいさつの ことば 「いろいろな挨拶」
ねらい	相手にどのような言葉をかけたり、どのような態度で接したりすればよいか考えることとおして、挨拶の大切さに気づき、すすんで気持ちのよい挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	挨拶をすることの大切さに気づき、気持ちのよい挨拶をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 挨拶をする時に大切なことに気づき、それぞれの場面でのふるまい方について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	きもちの よい せいかつ 「私の一日」
ねらい	自分の一日について考えることをとおして、時間を守ったり、身のまわりを整えたりすることの大切さに気づき、すすんで規則正しい生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	時間を守ることや、身のまわりを整理・整頓することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 基本的な生活習慣を身につけることで、快適な毎日が過ごせることに気づき、これからの生活について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	ものや おかねを たいせつに 「大切に使う」
ねらい	大切にされていない物やお金はどう思っているのかについて考えることをとおして、物やお金の役割に気づき、それらを大切に使い、身のまわりの物を整理・整頓しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	物やお金を大切に扱うことや、身のまわりを整理・整頓することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 物やお金を大切にすることで、快適な毎日が過ごせることに気づき、これからの生活について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	かぼちやの つる 「わがママをしないで」
ねらい	かぼちやがしたこと困ったところはどこか、また、どうすればよかったかについて考えることをとおして、わがママや自分勝手な行動をしないで、思慮深く考え、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。
評価の視点	わがママや自分勝手な行動が及ぼす影響や、どうすれば思慮深く、節度をもって行動できるかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分も周囲の人も快適な気持ちにするための行動や考えについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	くまさんの おちゃかい 「いつも素直に」
ねらい	さるさんの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、うそやごまかし、いけないことをしたときにどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	おふろばそうじ 「自分の仕事」
ねらい	お風呂場掃除に対するあきらの姿勢について考えることをとおして、自分のやるべき仕事や勉強などに気づき、それらをすすんで行おうとする判断力を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自分のやるべき仕事や勉強を続けられる理由について、多面的・多角的に考えることができているか。 やるべき仕事や勉強の大切さについて、自分との関わりで考えることができてい るか。

教材名	おじいちゃん だいすき 「家族のために」
ねらい	まひろとおじいちゃんの手紙を介した心の交流について考えることをとおして、家族から大切に育てられていることに気づき、家族や親族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	主人公に自分を投影する中で、家族とのつながりや家族のよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 家族の大切さを実感し、家族のためにできることについて、自分との関わりで考 えることができているか。

教材名	いっしょに かえろ 「友達と仲よく」
ねらい	「わたし」となっちゃんの行動について考えることをとおして、友達に対する理解を深め、友達を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	友達と仲よくすることに対するさまざまな考えにふれ、友達を助けたり、友達から助けられたりした時の心地よさについて、多面的・多角的に考えているか。 登場人物をとおして、友達と仲よくすることに対する考えを深め、友達の大切さ について、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	なかなおり 「素直な気持ちで」
ねらい	友達とのやりとりを体験的に学ぶことをとおして、素直に謝ることの大切さに気づき、友達とよりよい人間関係を築こうとする判断力を育てる。
評価の視点	素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。 登場人物をとおして、相手の立場や状況を踏まえて素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができてい るか。

教材名	ハムスターの 赤ちゃん 「生命がもつ力」
ねらい	ハムスターの赤ちゃんの成長する様子について考えることをとおして、生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、どのようにすることが生命を大切にすることなのかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 どんな小さな生き物でも、生きる力が備わっていることに気づき、生命を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	生きて いる じぶん 「生きていくあかし」
ねらい	心臓の鼓動や体温を感じるなど、生きていくことについて考えることをとおして、生命の尊さや、生きていくことの意味に気づき、生命を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	体験活動と話し合い活動をおして、生命の尊さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 心臓の鼓動や体温などを「生きていくあかし」として実感することで、生命の大切さやすばらしさについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	たのしかった ハイキング 「自然の中で」
ねらい	身近な自然について考えることをとおして、自然のよさや不思議さに対する理解を深め、自然に親しみ、動植物を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	自分の経験を振り返りながら、友達の考えにふれ、自然のもつ不思議さや生命力などについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自然とともに生きていくことに気づき、自然に親しむことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	きいろい ベンチ 「きまりを守って」
ねらい	たかしさんとてつおさんの行動について考えることをとおして、みんなで使う物の大切さに気づき、約束やきまりを守るよさや、みんなが使う物を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、登場人物の問題点から、みんなが使う物を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 約束やきまりを守って、みんなが使う物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	ダメ! 「勇気を出して」
ねらい	くまくんに対するりすくんの気持ちや行動について考えることをとおして、よいと思うことは勇気をもって行動することの大切さに気づき、よいことと悪いことの区別をして、よいと思うことを行おうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、勇気をもって正しいと思う行動をすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 どんな状況でも正しいと思う行動をすすんで行うことの大切さや難しさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	なんて いったら よいのかな 「よいと思うことをすすんで」
ねらい	いろいろな場面における言動を考えたり、やってみたりと、体験的に学ぶことをとおして、どのような行動をすべきか考え、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけようとする判断力を育てる。
評価の視点	さまざまな場面にふさわしい言動をとることについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 モラル場面において、よいことと悪いことの区別をし、状況に合わせた行動をしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	くりのみ 「相手を思いやって」
ねらい	きつねとうさぎの行動について考えることをとおして、自分だけでなく友達の立場にも気づき、互いに助け合おうとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、思いやりのある行動について、多面的・多角的に考えることができるか。 相手のことを考えて、思いやりの心をもって行動することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	はしの 上のおおかみ 「温かい心で親切に」
ねらい	おおかみの行動について考えたり、演じてみたりすることをとおして、優しい気持ちをもって、すすんで親切な行動をしようとする心情を育てる。
評価の視点	役割演技をつうじて、友達の考え方にふれながら、思いやりの心を持ち、親切に行動することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の生活経験をもとに、思いやりの心を持ち、親切に行動することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ねずみくんの きもち 「相手のことを思って」
ねらい	ねずみくんとふくろうさんの会話について考えることをとおして、優しい気持ちをもって、すすんで親切な行動をしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	話し合いをつうじて、友達の考え方にふれながら、思いやりの心をもって行動することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の生活経験をもとに、相手を思いやることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	おとうさん ありがとう 「ありがとうの気持ち」
ねらい	仕事が忙しい中でも、具合が悪くなったわたしの世話をしてくれるお父さんに対する気持ちを考えることをとおして、日頃お世話になっている人々を尊敬し、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、日頃お世話になっている人々に対して尊敬と感謝する心をもつことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 日頃お世話になっている人々に対して、尊敬し、感謝する気持ちをもつことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	わたしの よい ところ 「よいところ見つけ」
ねらい	友達や自分のよいところについて考えることをとおして、友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする心情を育てる。
評価の視点	友達との関わりをとおして、自分が好きなことや得意なことから、自分の特徴について、多面的・多角的に考えることができるか。 友達との関わりの中で、自分の特徴やよさを確かめ、それらを伸ばそうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	すきなものを見つげよう——澤 穂希—— 「夢に向かって」
ねらい	澤選手のメッセージについて考えることをとおして、自分の夢や長所に気づき、積極的に自分の長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	澤選手のメッセージや友達の考えにふれ、自分の好きなことや得意なことを続けていくために必要なことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の好きなことや得意なことを続けていくことの大切さを理解し、将来の夢や長所を伸ばすことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	森の ゆうびん屋さん 「働く喜び」
ねらい	働くくまさんの姿について考えることをとおして、相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、働くことのよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 登場人物の気持ちをつうじて、働くことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	こくばんとうばん 「みんなの役に立ちたい」
ねらい	「わたし」の迷いや行動について考えることをとおして、責任をもって働くことのよさに気づき、自分もすすんで働こうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	最後まで責任をもって働くことが、相手や一緒に働く仲間になどのような影響を与えるかということについて、多面的・多角的に考えることができるか。 働くことのよさを理解し、みんなのためにすすんで働くことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	みんなが えがおに 「うれしくなる言葉」
ねらい	うれしくなる言葉や悲しくなる言葉について考えることをとおして、言葉の大切さを理解し、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	日常生活を振り返りながら、相手に言われてうれしい言葉のよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 相手に言われてうれしい言葉のよさに気づき、言葉の大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	七つの ほし 「美しい心」
ねらい	女の子の行動について考えることをとおして、美しいものや清らかなもののよさに気づき、すがすがしい心をもとうとする心情を育てる。
評価の視点	美しいものや清らかなものについての友達の考えにふれ、心の美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 美しいものや清らかなもののよさに気づき、心の美しさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	日本の ぎょうじ 「楽しい行事」
ねらい	好きな行事やその理由について話し合う活動をとおして、日本には季節ごとにさまざまな行事があることを知り、親しみをもつとともに、わが国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、日本や地域の伝統的な行事のよさや大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 季節ごとのさまざまな行事を守り、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	せかいの あいさつ 「世界の言葉で」
ねらい	世界のさまざまな国の挨拶について考えることをとおして、挨拶の大切さに気づき、挨拶によって、すすんで他国の人々とのコミュニケーションをとろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	いろいろな国の言葉で挨拶する活動をつうじて、世界の挨拶や文化について、多面的・多角的に考えることができるか。 世界にはいろいろな挨拶の言葉があることを知り、他国の人々と交流することについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	光和小の さくらの 木 「楽しい学校」
ねらい	桜の木の下で一年間を過ごしたゆみこさんの生活について考えることをとおして、楽しかったできごとや支えてくれた人に気づき、これからも楽しい学校生活を送っていこうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 学校生活が多くの人に支えられていることを理解し、よりよい学校生活について、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	赤とんぼ 「自然とふれ合う」
ねらい	逃がした赤とんぼが夕焼け空に吸い込まれるように飛んでいくのを見つめる「ぼく」の気持ちを考えることをとおして、身近な自然に親しみ、自然や動植物を守ろうとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自然の中でみられるさまざまな美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 身近な自然に親しみ、自然や生き物を大切にしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	見上げて みよう よの 空 「すがすがしい心」
ねらい	美しい夜空について考えることをとおして、すがすがしい心のあり方に気づき、自然の美しさに感動するとともに、美しいものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自然の中で見られる美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 さまざまな美を感じる心に気づき、美しいものに感動することについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	がんばれ まごべえ 「ふるさとを大切に」
ねらい	力いっぱい闘うまごべえの姿について考えることをとおして、地域の伝統行事のよさや楽しさに気づき、自分たちの郷土や地域の行事を守り、すすんで参加しようとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、地域の行事に親しむよさや楽しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 主人公の立場に共感しながら、地域の行事のよさや楽しさについて、自分との関わりで考えることができるか。